

佐賀市様 アンケート結果のフィードバック

全国の子どもたちが求める 文化・スポーツ活動とは何か？

— イマチャレ1万人アンケートの結果から —

イマチャレ製作委員会



データ概要

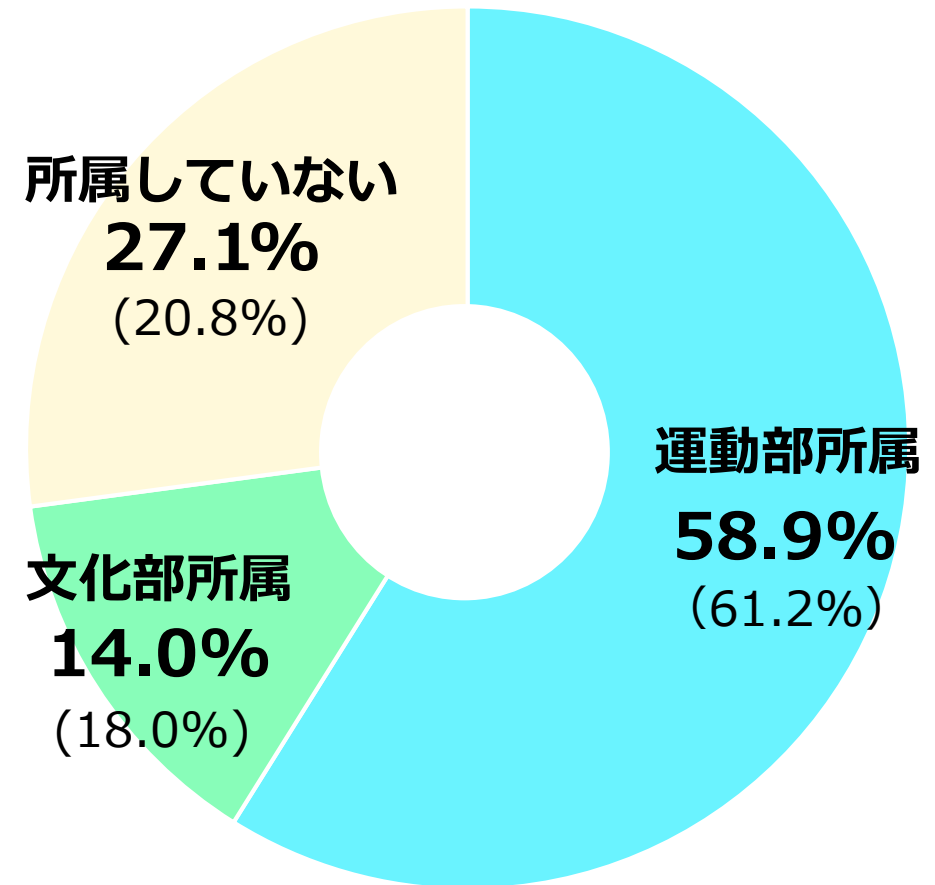
■ 期間：2023年7月～10月

■ 対象：中学1～3年生

■ データ数（佐賀市）：4,561名

■ 全国データ数：23,667名

大津町、石岡市、石倉市、加賀市、
掛川市、北谷村、京丹波町、黒潮町、
白井市、須賀川市、垂水市、富谷市、
名護市、姫路市、真岡市、宮崎市、
読谷村（五十音順）



※ 各自治体で調査を実施し、匿名化したデータを取得

（ ）は全国データ

イマチャレアンケート結果

【概要・佐賀市版】

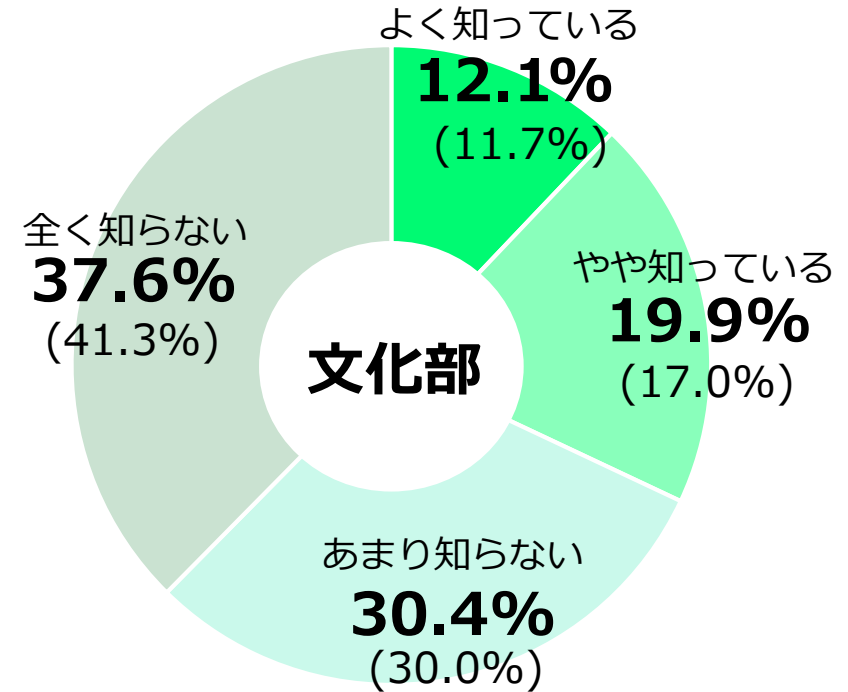
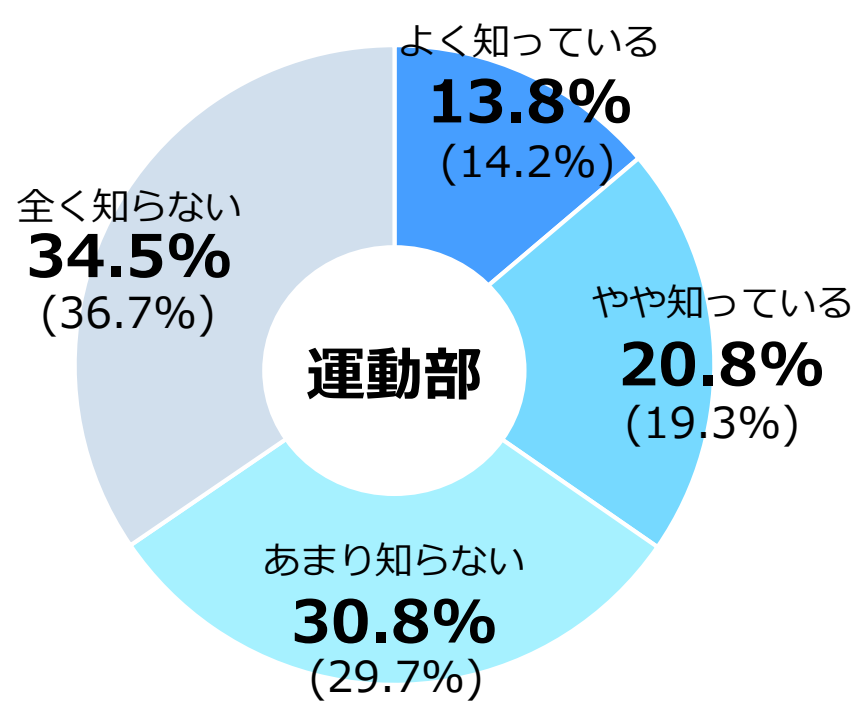
イマチャレアンケート結果の【概要】

テーマ1

生徒の「部活動改革」への理解

テーマ1：生徒の部活改革への理解

- Q：スポーツ庁・文化庁では、休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？



() は全国データ

テーマ1：生徒の「部活動改革」への理解

■ 結果のまとめ

部活動改革が推進されていることを知っている生徒は30%程度

⇒ **全国的と同等の数字だが、低い数字であり、さらなる生徒への周知が必要**

■ 提言

「こども基本法」が令和5年4月1日から公布され、子どもが参加する権利、子どもが自分の意見を言える権利を尊重することが、改革のスタート。

アンケート結果を生徒にフィードバックしていくことが第一歩。

イマチャレアンケート結果の【概要】

テーマ2

生徒の生活実態

テーマ2：生徒の生活の現状

部活動をしている平日の日数を教えてください。	人数	割合	全国割合
1日	42	1.30%	1.90%
2日	36	1.10%	3.50%
3日	149	4.50%	18.20%
4日	1979	59.50%	55.00%
5日	1118	33.60%	20.70%
平日は行っていない	0	0.00%	0.70%

※スポーツ庁・文化庁のガイドラインでは、平日の活動は週4日以内

平日1日あたりの平均的な部活動の時間を教えてください。	人数	割合	全国割合
30分程度	16	0.50%	2.00%
1時間程度	87	2.60%	10.60%
1時間30分程度	458	13.80%	15.60%
2時間程度	1661	50.00%	44.80%
2時間30分程度	839	25.20%	20.00%
3時間以上	263	7.90%	6.40%
平日は行っていない	0	0.00%	0.30%

※スポーツ庁・文化庁のガイドラインでは、平日の活動時間は2時間程度。

テーマ2：生徒の生活実態（全国）

■ 全国の部活動の日数・時間の平均

	運動部		文化部	
	平日	休日	平日	休日
日数	4.0 日 /週 (5日 21%)	1.1 日 /週 (2日 14%)	3.5 日 /週 (5日 18%)	0.6 日 /週 (2日 4.7%)
時間	2h13 min /回 (2h以上 28%)	2h40 min /回 (3h以上 65%)	1h59 min /回 (2h以上 27%)	1h48 min /回 (3h以上 20%)
総時間数	487 h / 年		332 h / 年	

※ 総授業時間数は850h、（ ）内はガイドラインを超えている割合

テーマ2：生徒の生活の現状

■ 佐賀市の日数・時間の平均

	運動部		文化部	
	平日	休日	平日	休日
日数	4.2日 / 週 (5日 32%)	1.2日 / 週 (2日 22%)	4.3日 / 週 (5日 41%)	0.9日 / 週 (2日 14%)
時間	2h13min / 回 (2h以上 35%)	2h36min / 回 (3h以上 58%)	1h59min / 回 (2h以上 27%)	2h18min / 回 (3h以上 67%)
総時間数	545 h / 年		482 h / 年	

※ 年45週で計算、総授業時間数は850h、

() 内はガイドラインを超えている割合

テーマ2：生徒の生活の現状

学習や趣味、家族や友人との時間を含めて、心身ともに健康でバランスの取れた生活を送っていくために、現在の活動量（時間や日数）は適切だと思いますか？	人数	割合	全国割合
1多すぎる	231	6.90%	5.50%
2やや多い	730	22.00%	22.90%
3適切	2063	62.10%	61.80%
4やや少ない	221	6.60%	7.80%
5少なすぎる	79	2.40%	2.00%

テーマ2：生徒の生活の現状

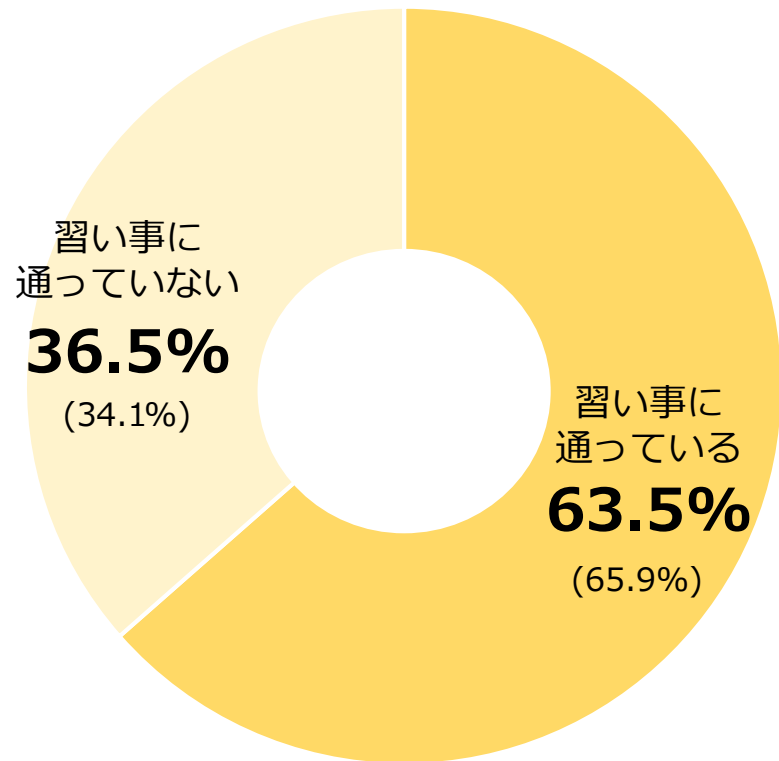
Q.学校生活の中で、困難やストレスを感じることはありますか？

	人数	割合	全国割合
1全く感じない	644	19.40%	17.80%
2あまり感じない	1239	37.30%	36.40%
3時々感じる	1203	36.20%	37.70%
4とても感じる	238	7.20%	8.00%

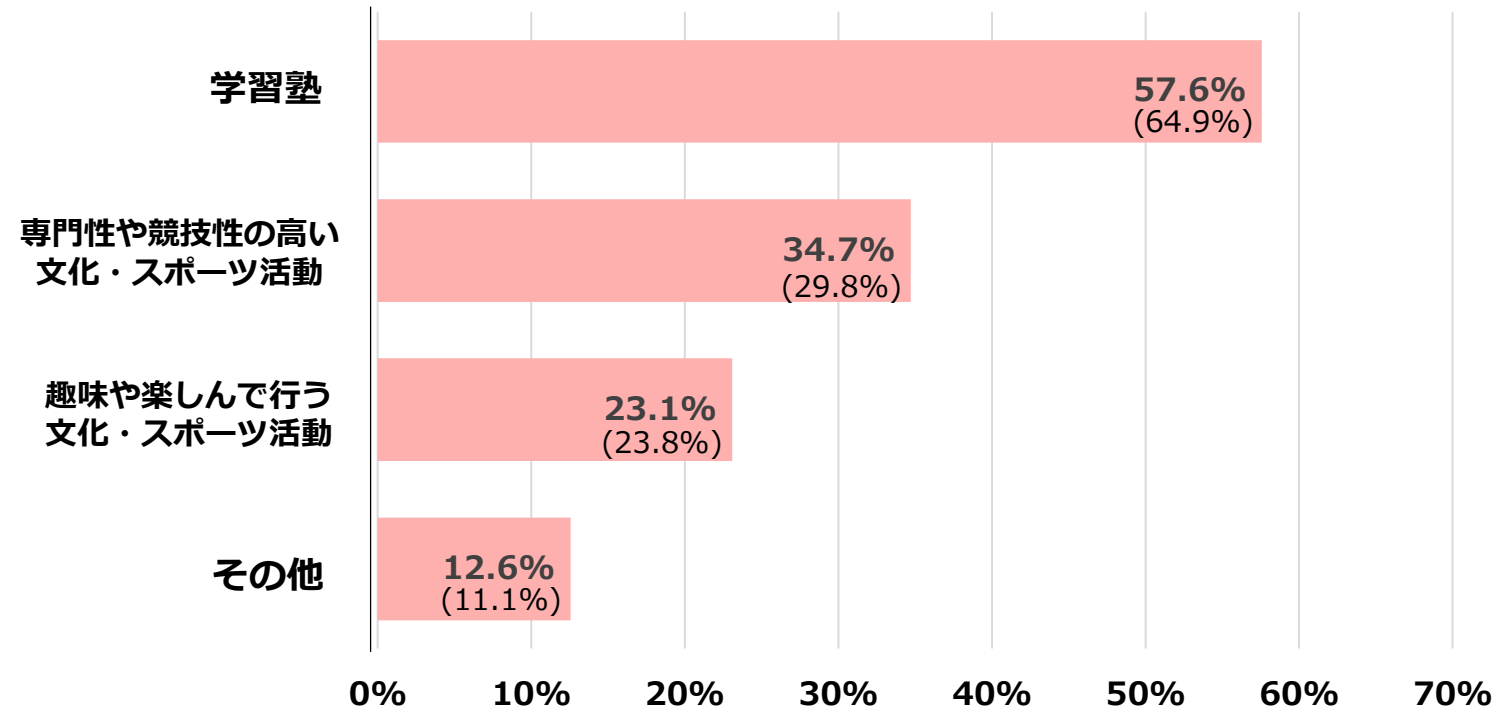
テーマ2：生徒の生活の現状

■ 学校以外の習い事（塾やスポーツ活動）

学習塾やスポーツ活動、
習い事などに通ってますか？



どんな習い事をしていますか？

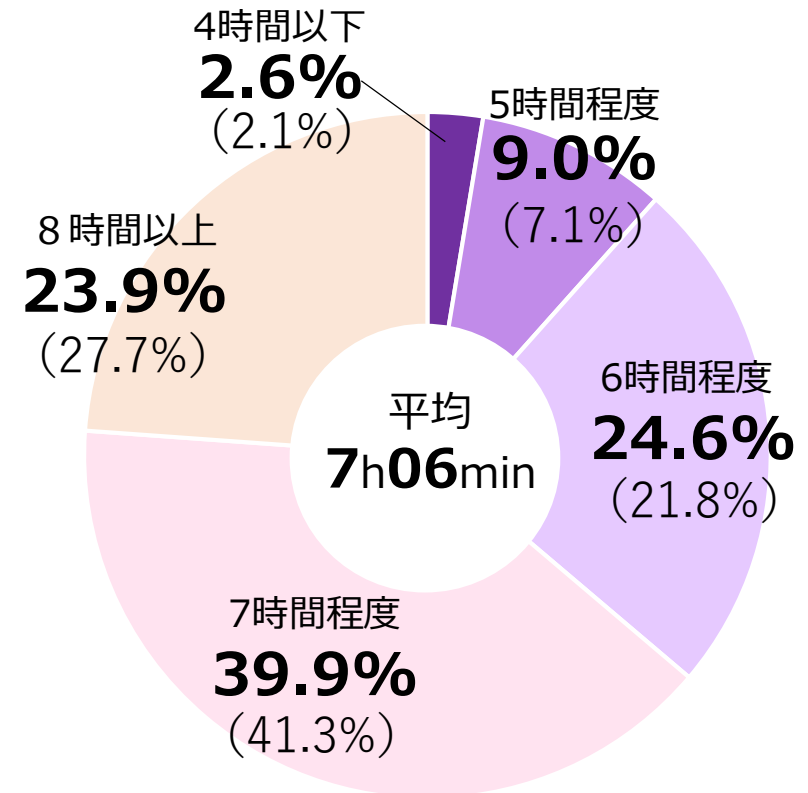


テーマ2：生徒の生活の現状

■ 学校以外の習い事（学習塾・地域クラブ等）の日数・時間、及び睡眠時間



※ 年45週で計算、総授業時間数は855h



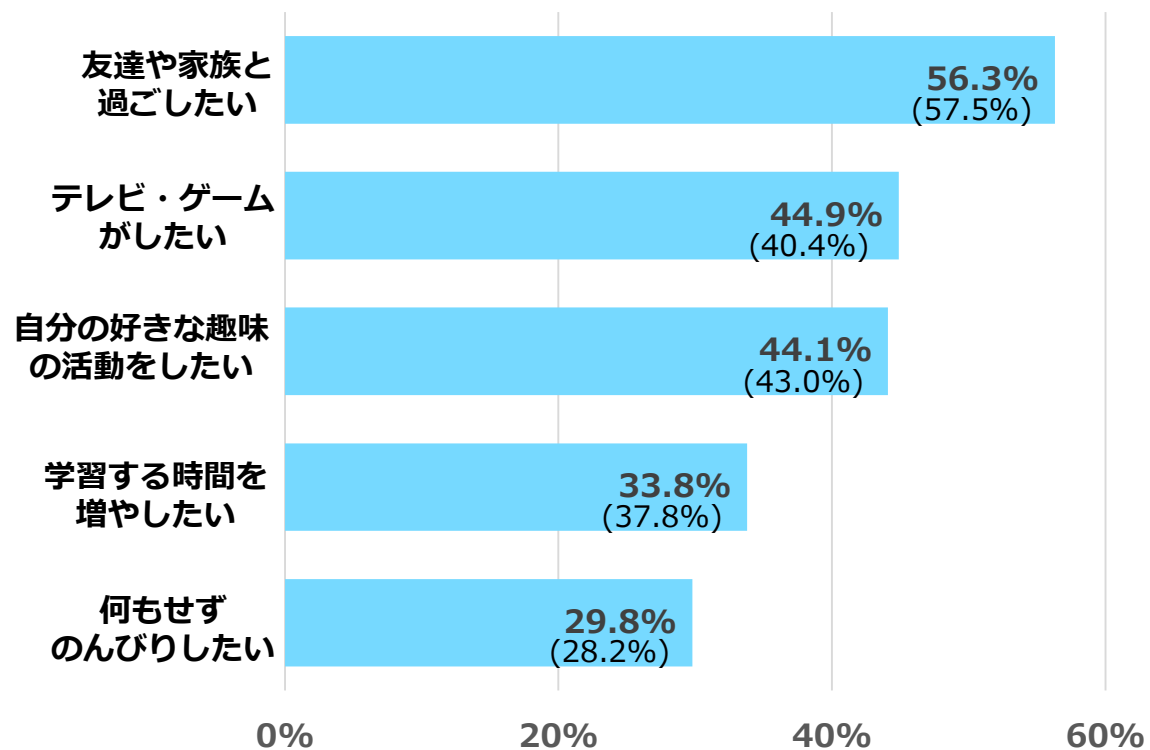
推奨：8h30min

「うつ・不安」リスクが最も低い (SLEEP; Ojio et al., 2016)

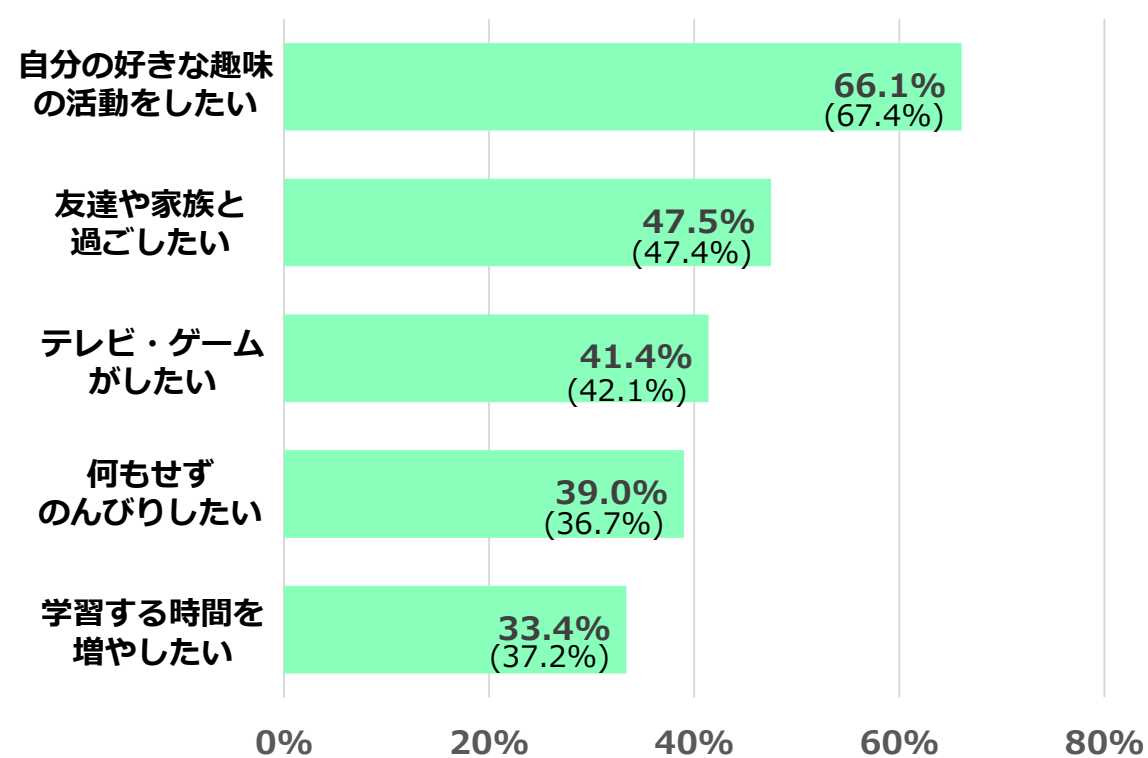
テーマ2：生徒の生活の現状

■ Q：現在の部活動の活動量（時間や日数）が今より少なくなったとしたら、その時間で何がしたいですか？（3つまで回答可）

運動部



文化部



テーマ2：生徒の生活実態

■ 結果のまとめ

スポーツ庁/文化庁のガイドラインを超えて活動しているが割合が多い。

「運動部＋学外の習い事」で**平均782h/年**の活動をしている（総授業時間：850h/年）

睡眠時間が6時間以下の生徒が約30%いる（推奨睡眠時間：8h30min）

半数以上の生徒が「友人や家族と過ごしたい」「趣味の時間が欲しい」と回答

■ 提言

心身の健全な発育発達のためにも、**活動時間数の改善（適正化）**が必要

イマチャレアンケート結果の【概要】

テーマ3

現在の部活動における主体性

テーマ3：現在の部活動環境

Q.現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか？

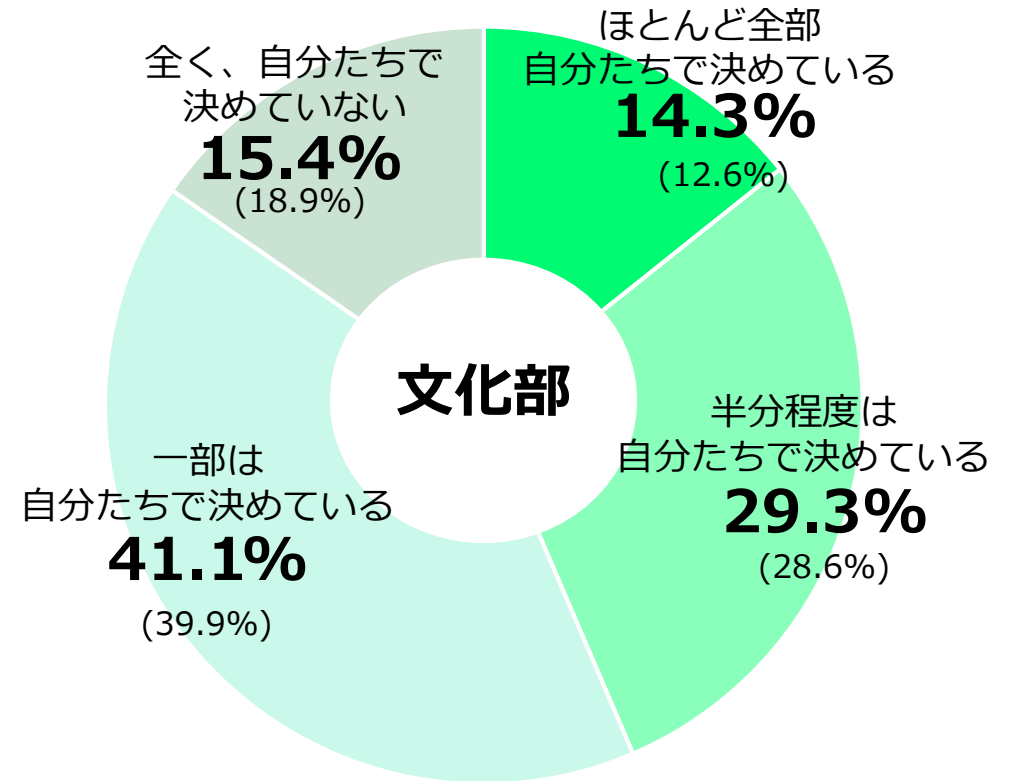
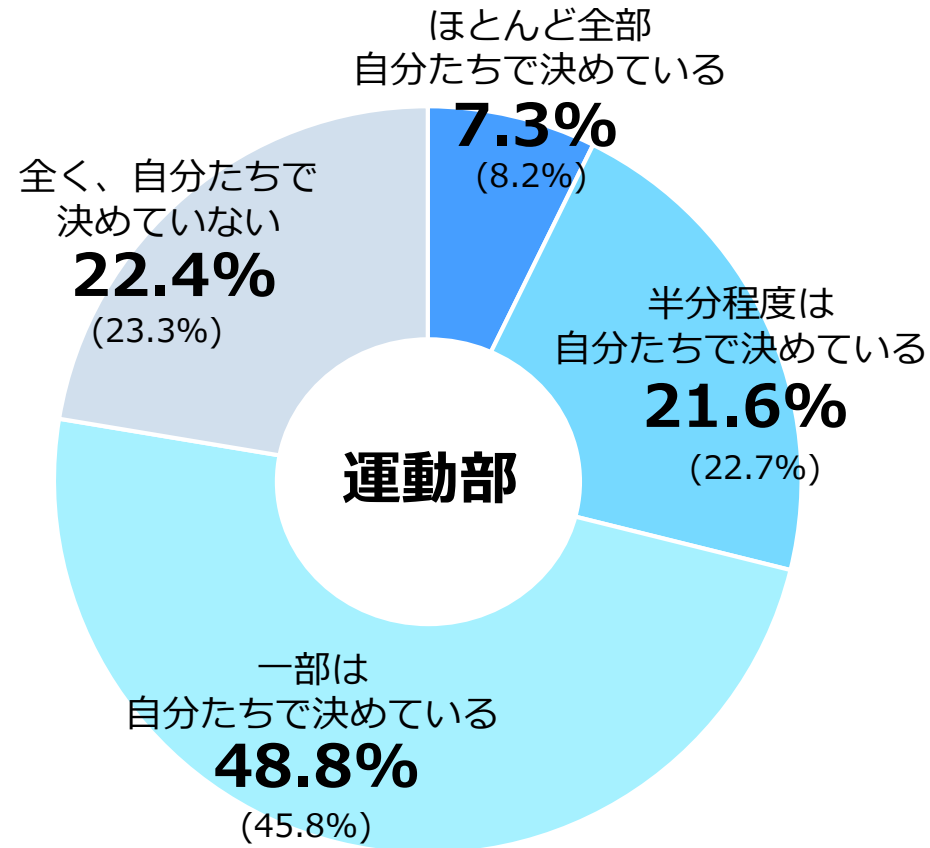
	人数	割合	全国割合
1ほとんど全部、自分たちで決めている	287	8.60%	9.20%
2半分程度は、自分たちで決めている	766	23.00%	23.90%
3一部は、自分たちで決めている	1572	47.30%	44.70%
4全く、自分たちで決めていない	699	21.00%	22.30%

Q.練習時間や内容、試合のメンバーなど、部活動において自分たち（生徒同士）で決めたいと思いますか？

	人数	割合	全国割合
1ほとんど全部、自分たちで決めたい	451	13.60%	13.40%
2半分程度は、自分たちで決めたい	1116	33.60%	36.30%
3一部は、自分たちで決めたい	1387	41.70%	39.60%
4全く、自分たちで決めたくない	370	11.10%	10.60%

テーマ3：現在の部活動環境

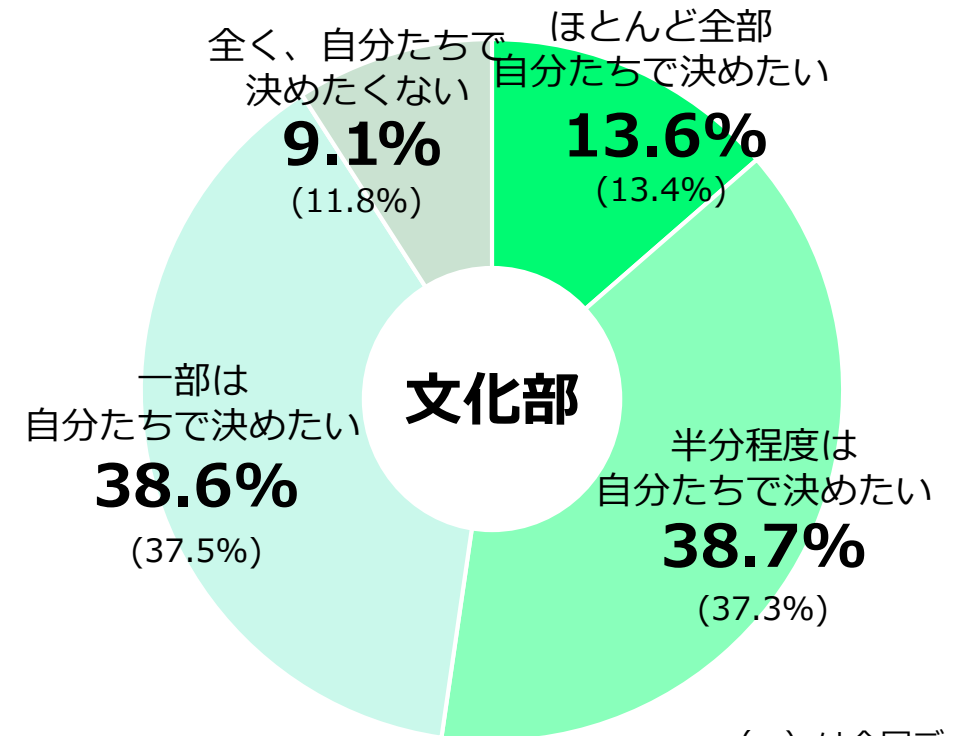
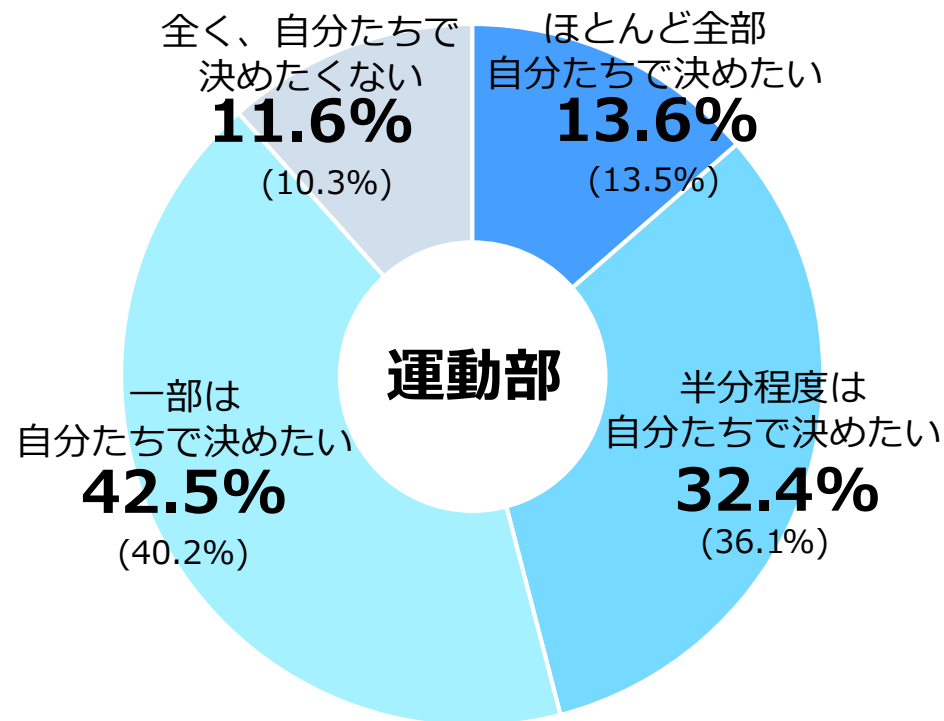
- Q：現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか？



() は全国データ

テーマ3：現在の部活動環境

- Q：練習の時間や内容、試合のメンバーなど、部活動において自分たち（生徒同士）で決めたいと思いますか？



() は全国データ

テーマ3：現在の部活動環境

Q.生徒が主体となって企画や運営をする試合などをやってみたいと思いますか？

	人数	佐賀市	全国割合
ぜひやってみたい	897	27.0	28.5
どちらかというやってみたい	1188	35.7	40.5
どちらかというやりたくない	691	20.8	19.5
まったくやりたくない	392	11.8	9.9
その他	156	4.7	-

テーマ3：現在の部活動環境

■ 結果のまとめ

活動内容について「全く自分たちで決めていない」生徒が20%程度いる一方で、「(半分以上)自分たちで決めたい」生徒も40%以上いる

■ 提言

「主体的な意思決定」がこれからの子どもたちには必要

⇒ 部活動において主体的に「自己決定する機会」を増やす

⇒ アンケート結果をもとに、何を自分たちで決めたいのか話し合いの機会を

⇒ 生徒が主体となった（試行的な）試合・ワンデーイベントの実施

イマチャレアンケート結果の【概要】

テーマ4

より良い地域活動に向けて

テーマ4：より良い地域活動に向けて

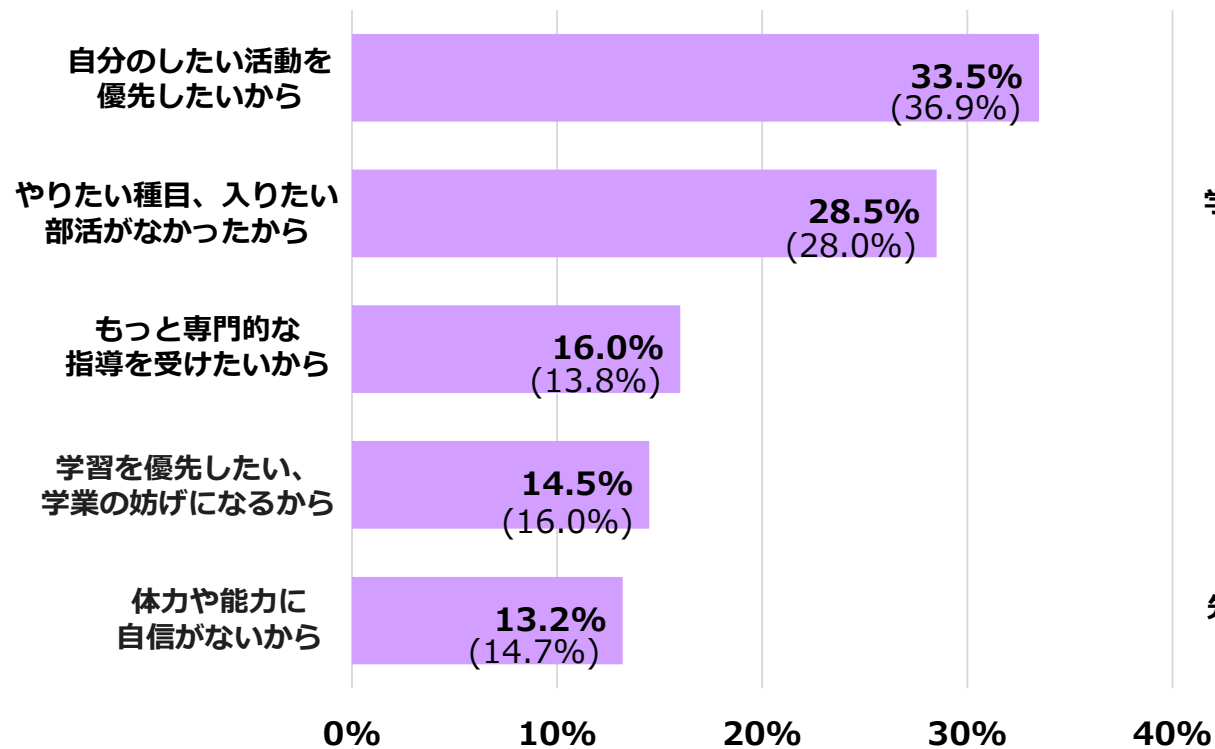
Q.同じ地域で、別の学校の生徒とスポーツ・文化活動を一緒に活動してみたいと思いますか？

	回答数	割合	一次集計（全国）
ぜひやってみたい	796	23.9	45.3%
どちらかといえばやってみたい	1004	30.2	37.3%
どちらかといえばやりたくない	525	15.8	10.4%
まったくやりたくない	403	12.1	3.3%
わからない	549	16.5	3.7%
その他	47	1.4	-

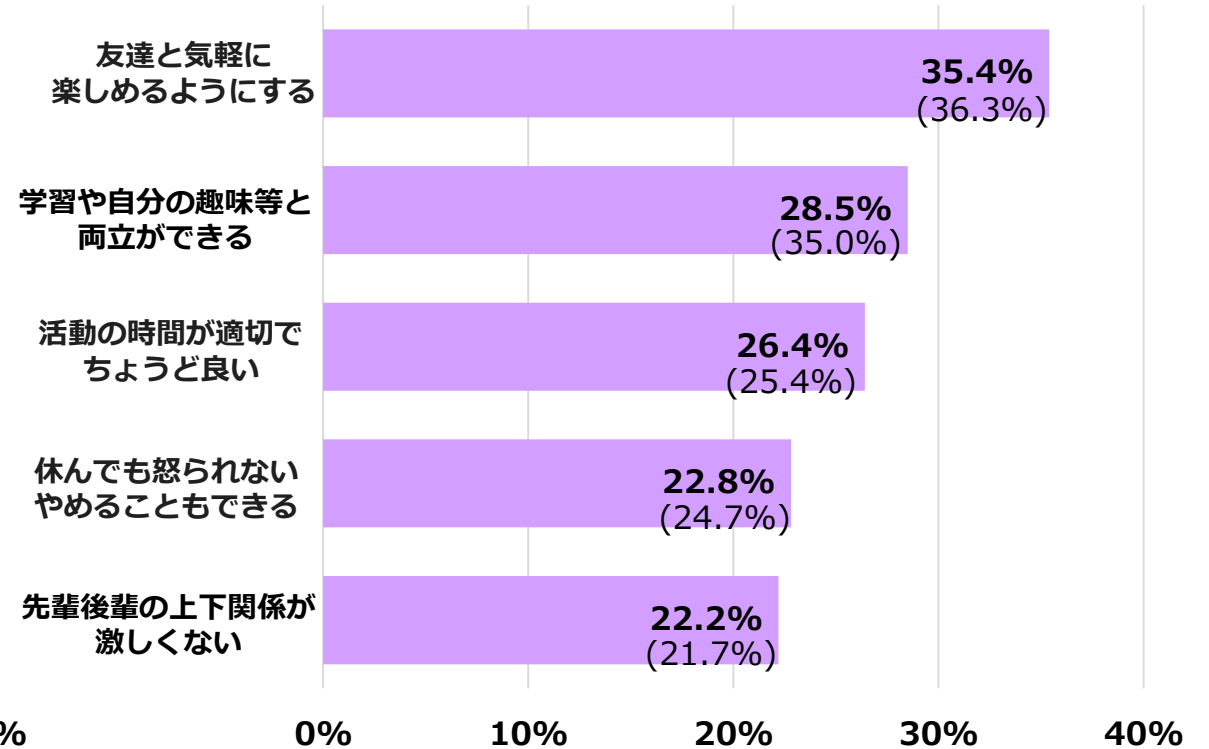
テーマ4：より良い地域活動に向けて

■ 部活動に入っていない生徒（全体の約22%）の意見

部活動に入らなかった理由



どんな活動なら入りたかったか？



テーマ4：より良い地域活動に向けて

■ 結果のまとめ

より良い活動のためには「健康への配慮・専門的指導・やりたい種目ができる」
ことが求められている

■ 提言

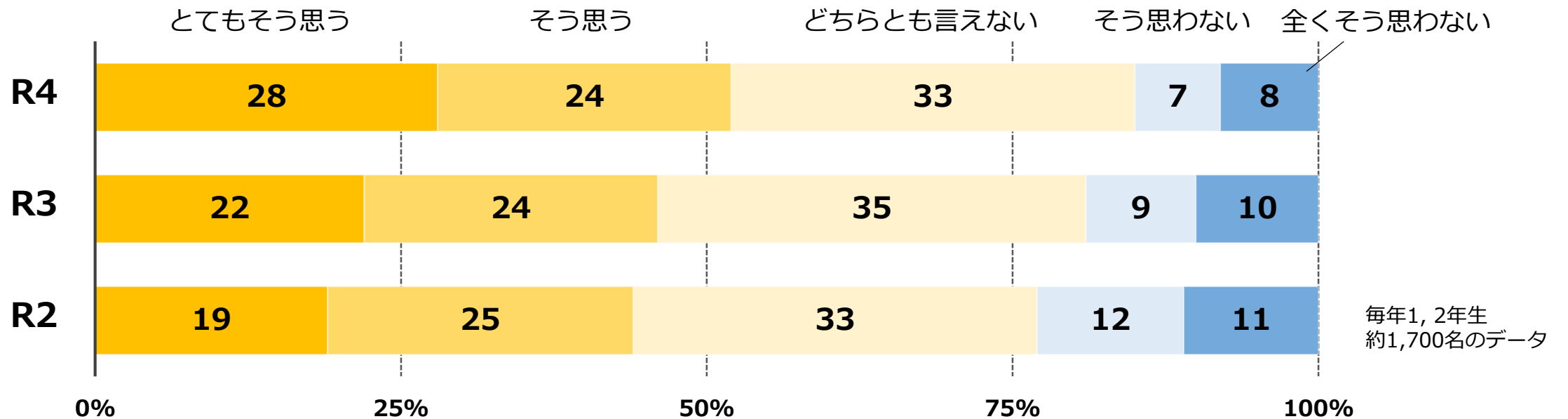
地域全体で「**楽しめる・選択肢のある**」文化スポーツ活動を創っていく
必要がある

継続調査によって変えていく
－ アンケート実施の重要性 －

継続的な調査が重要

- 長野県飯田市ではR2年度から「冬期(11~1月)の部活動オフ期間」を導入
毎年、生徒の反応をアンケート調査で確認している

Q: 「放課後の部活動の行わない期間」があつて、良かったと思いますか？



継続して調査することで変化や改革の効果が確認できる

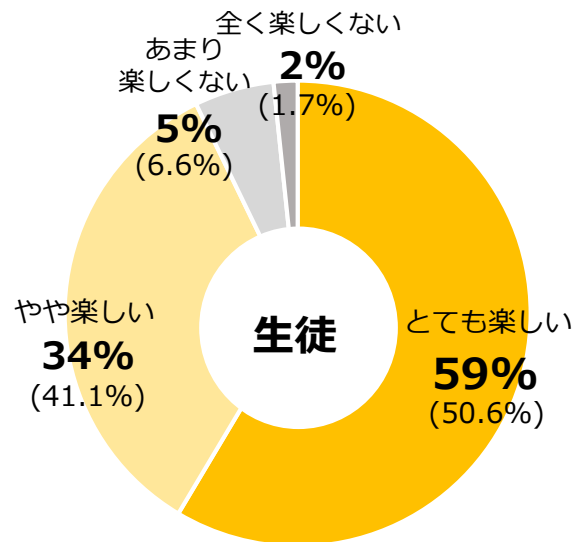
部活動改革の目的を見失わない

■ 子どもだけでなく、教員や保護者、関係者を含めたウェルビーイングの向上

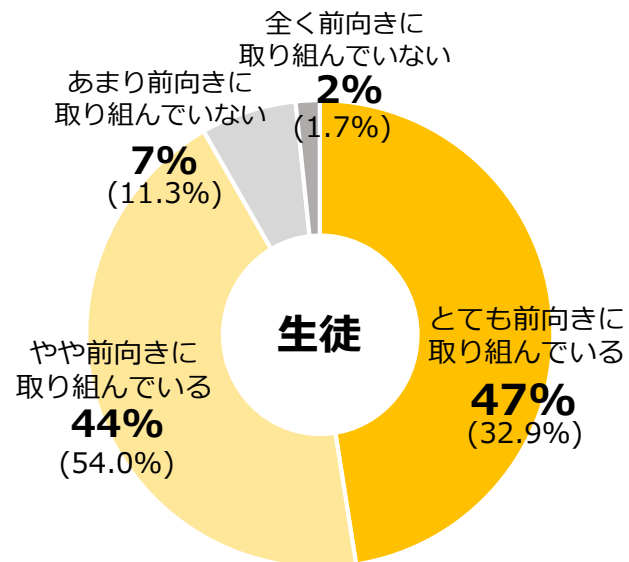
⇒ 健全で持続可能な環境を作っていくことが、本当の意味での「子どものため」



Q：学校は楽しいですか？



Q：学校における学習に
前向きに取り組んでいますか？



**当事者である子どもだけでなく
教員・保護者・地域等の意見も聞き**

**改革に巻き込んでいくことで
「健全で持続可能な教育環境」
「文化スポーツ環境」を
一緒になって創り出していく**